

第10回 北の防人大湊づくりワークショップ

1. 北の防人大湊づくり 現在の状況
2. 実施計画について
3. 建物の名前検討ワークショップ
4. 発表

日時 平成24年9月14日(金) 18:00～
場所 本庁舎 大会議室2

第9回ワークショップ(平成24年2月10日17:30～)



設計業務中
(～12/21)



重要文化財の保存、管理、活用(周辺を含む)

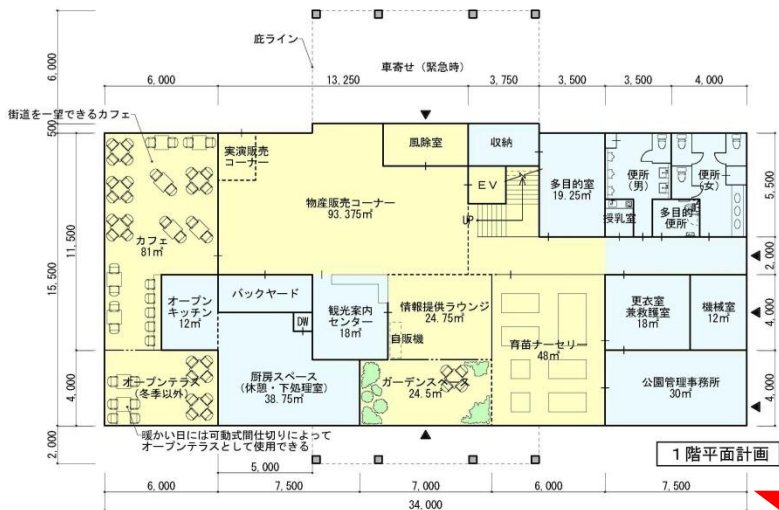
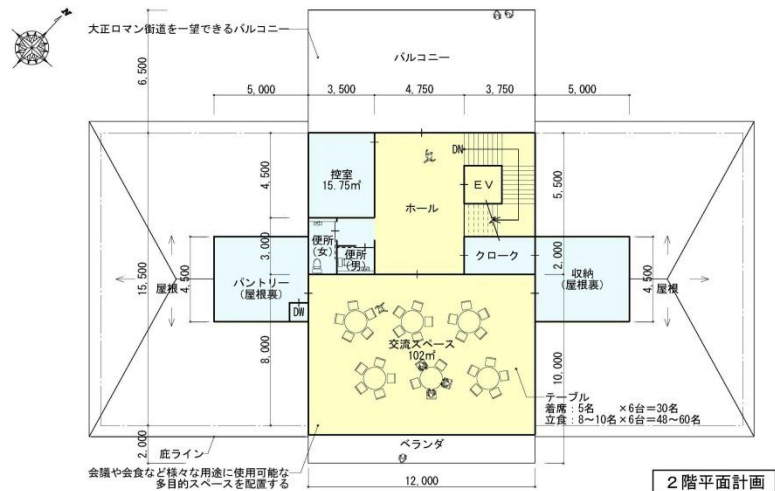
重要文化財「旧大湊水源地水道施設」保存活用検討委員会が開催



観光交流センター → 重要文化財へ配慮し、目立ちすぎないようにシンプルに
女子寮 → 西側半分の和室を撤去せずに、活用
(望ましくは、国指定重要文化財の指定を目指す。)



今日のワークショップ(平成24年9月14日)



北側立面イメージ

煉瓦タイル貼り仕上



西側立面イメージ

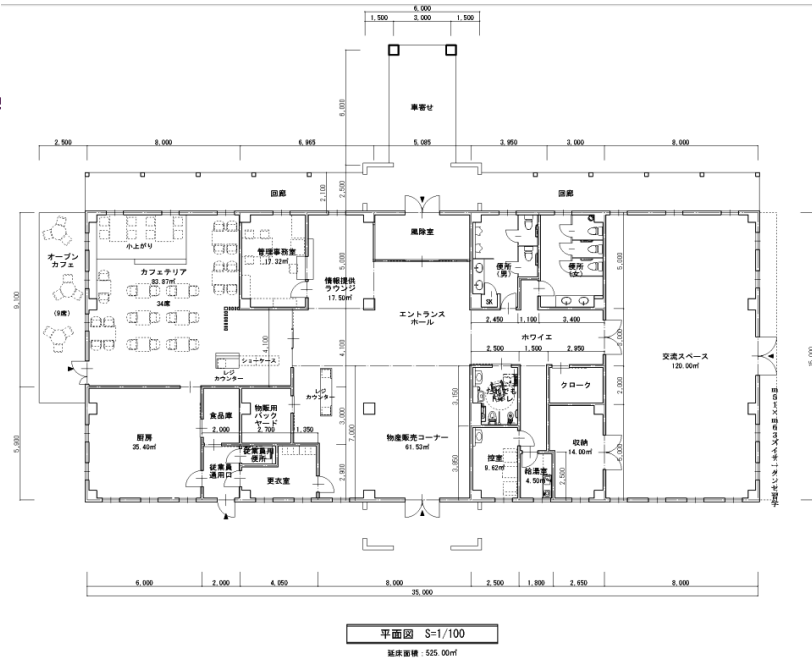
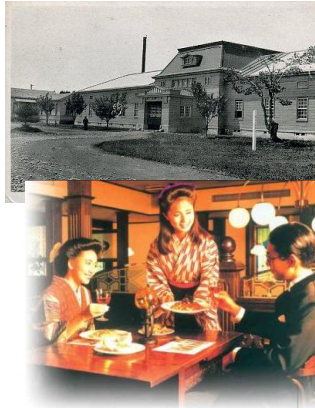
維持管理費メンテナンスを考えて、レンガ調の壁材で設計していた。

この設計を見直しに

市民・観光交流施設の設置 (仮称)観光交流センター

〈基本コンセプト〉

～ここしかないもの、ここでしか食べられないものを提供～
『むつ市のうまいは日本一』を具現化する施設として食の魅力をアピールし、公園内の散策、鑑賞に高付加価値を付与し、賑わいの創出、市内及び下北観光の名所となることを目指します。



〈平面計画〉

- 1.建物の南北軸を基点に、西側(左側)を『寛ぎ、癒しの空間』、東側(右側)をイベントなどの『レセプション空間』として利用者へ開放し、南北軸のライン上では、観光情報の提供や物産販売を通して『北の防人大湊を発信する空間』とする。
- 2.カフェは市道9号線駐車場から見えるように北側(上側)に開き、外部からの興味を惹き付けるように計画する。天気の良い日には間仕切りを使用して、オープンテラスとしても使用可能とする。
- 3.交流スペースでは、会議や会食・パーティーなど、市民の交流スペースとして利活用を図る。



〈明治・大正のレトロな雰囲気を感じるカフェ〉



〈レセプション時の交流スペース〉

〈配置計画〉

観光地としてのメイン施設であり、国指定重要文化財『沈澄池堰堤』と歴史的な石造り建築物とを動線で結んだ中間地点に配置され、観光客や住民の集約地として北の防人大湊の『コア(核)』の役割を担っていく施設とする。



〈立面計画〉

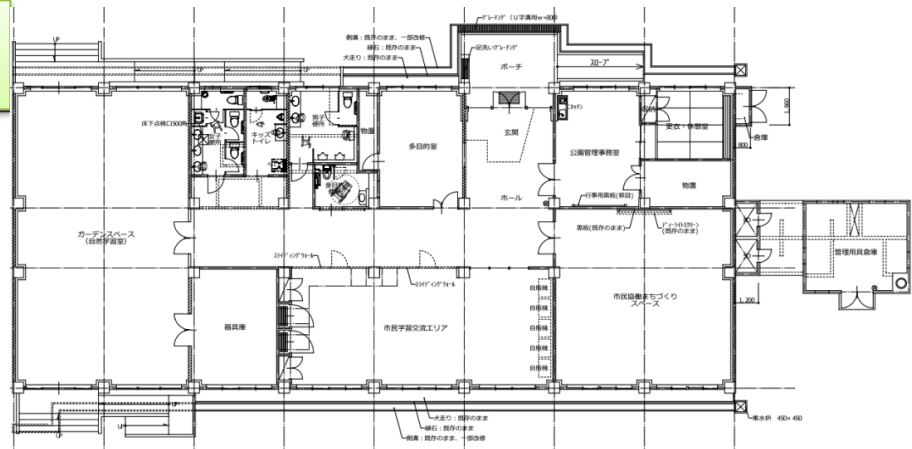
- 1.外観は大湊に存在した「大湊要港部庁舎」をイメージしたものとする。
- 2.屋根色は、明治・大正期の洋館等に使用されていた銅板の緑青をイメージした 風格ある緑青色とする。

学習センターの再生

【(仮称)緑の学習センター】

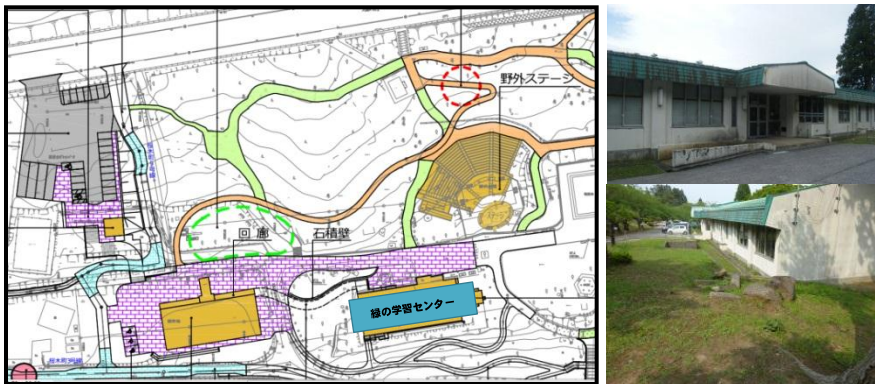
〈基本コンセプト〉

～育苗プロセスから生まれる市民ネットワークの拡大～
育苗から植樹までのプロセスを市民や訪れた方々が体験でき、自然環境への理解を深め、植物環境の教授をはかれる場として提供する。
また、育てた植物たちが市民と行政を繋ぎ合わせるトランスミッションの役割を担い、『緑のまち育て』の拠点施設として活用する。



〈平面計画〉

1. 既存の学習センターを改修して育苗ナーサリーのガーデンスペースを拠点とした、公園の管理棟機能と市民協働の緑による街づくりのサポート室機能を兼ね備えた施設として改修を目指します。
2. ガーデンスペースでは、市民が主体となりワークスペースを造り上げ、育苗プロセスの体験や、植栽のレクチャー(勉強会)のスペースとして活用する。
3. 市民学習交流エリアでは、ホール部分からの開放感を感じられ、居室としての用途を選定するのではなく、利用者の自由な活動ができるスペースとして計画を行う。
4. 市民協働まちづくりスペースでは、『緑のまち育て』に向けた市民が主体となり、行政がサポーターとして展開していく為の拠点として活用する。



〈配置計画〉

観光交流センターと学習センターに緑地スペースが配置され、この間を歩廊型のアプローチにて連動させる。また、歩廊アプローチ間には高低差があることから、起伏の地形を活かしたバリアフリー対応のされた舗装整備を行う。



〈立面計画〉

1. 既存の閉鎖的空間からガーデンスペース入口部分の開口拡張により、多くの採光を取り込み、開放的な空間とする。
2. 改修後は隣接する観光交流センターとの統一感を持たせる。
3. 車椅子利用者や高齢者への配慮として、スロープを配置し建物の入り口部分をバリアフリー対応とする。

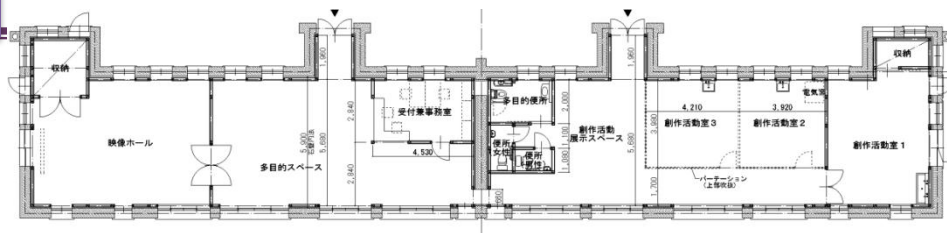


交流施設: 収蔵庫の再生

〈基本コンセプト〉

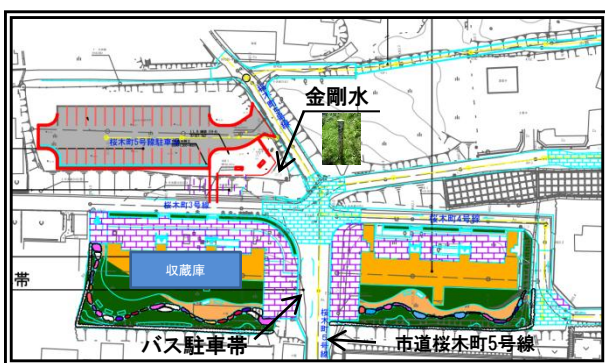
～創作活動による市民交流の拡大～

市民や観光客向けに北の防人大湊に関する、歴史、文化等の学習の場としての提供し、展示イベント時には開催場としての役割を果たす。また、市民団体や下北で活動中の若手アーティストのため創作活動の場として提供し、アーティストと市民との交流の拡大を図り新たな文化の創出を目指す。



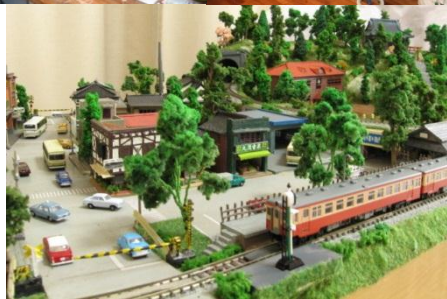
〈平面計画〉

1. 創作活動室には、アーティストや体験利用者が創作活動を行える設備環境を整える。
2. 多目的スペースには、様々な展示品等の掲示ができるように部屋を仕切るものとして、天井用ピクチャーレールやパーテーション、吊し受けを設置する。
3. 大湊地区の歴史・文化及び北の防人大湊に関する資料を映像にて市民に教授させるスペースとして映像ホールを開放する。
4. 並びで配置されている収蔵庫と旧大湊高校女子寮の、建物運営管理を行う場所として受付事務室を配置する。



〈配置計画〉

周辺の既存樹等は極力活かす。建物の南側には植栽スペースを設け、周囲の景観に配慮する。また、歴史的価値の高い石造り建築物をライトアップ等の演出により、石造りが持つ重厚感やシンボル性を引き立たせ、明治・大正期を彷彿させる雰囲気作りを行う。



〈立面計画〉

1. 外壁の石積みはそのままの形状を残し、屋根形状の葺き替えと建物内部の改修を行う。
2. 旧士官宿舎時代の外観をイメージし、既存の開口部を塞いでいる擬石貼りコンクリートを全て取り壊し、新たに補強を行い、閉鎖的な内部空間へ採光を取り込む。
3. 屋根はカラーガルバニウム鋼板にて旧女子寮と同色で葺き替え統一感を持たせる。

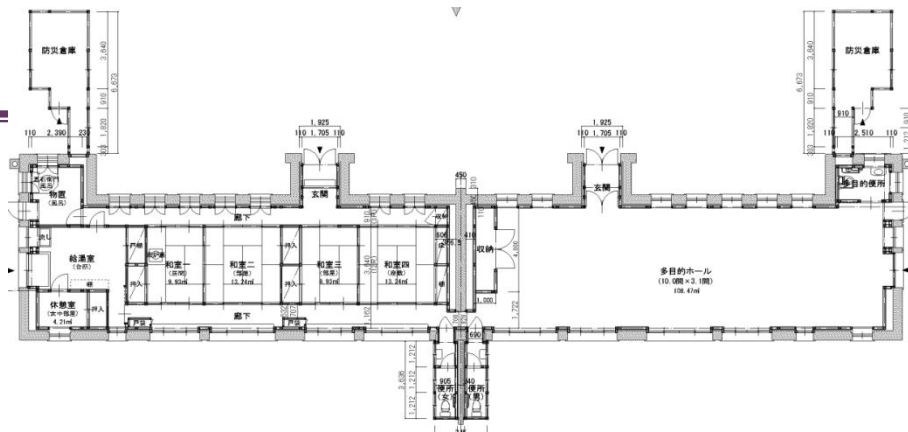
交流施設：旧大湊高校女子寮

〈基本コンセプト〉

～歴史の伝承と市民交流活動の場～

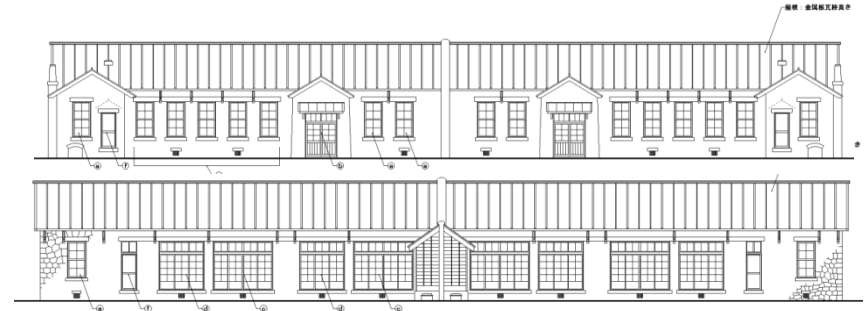
旧石造り官舎の外観イメージを保全し、内部西側を明治、大正期の和室取りへ復元することにより、当時の生活環境の雰囲気や時代経過を肌で感じる施設へと生まれ変わらせる。また、復元するだけでなく、和室の新たな活用方法を検討し、数多くの利用者に活用され、交流できる施設とする。

【和室活用（例：生け花、和室ふるまいマナー講座、和室ヨガ等）】



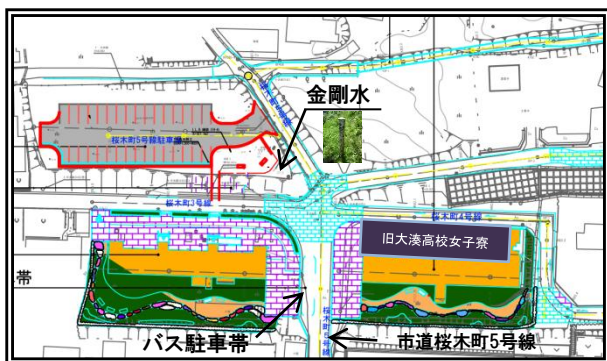
〈平面計画〉

1. 石造りの建物自体にとっても貴重価値があることより、比較的、部材等のもちがよい、向かってかって左手（西側）を大正5年当時の旧士官宿舎へと復元し、反対（東側）は交流スペースとして市民へ開放する。
2. 既存の物置についても建設当時の物であることか、対で二棟を残し緊急災害時用の物資保管庫とする。



〈立面計画〉

1. 現存する資料を基に外観及び周辺環境について旧海軍官舎時代の復旧を試み、石造り建築物が持つ魅力をさらに磨き上げ、補強改修を行い重要文化財としての指定を目指す。
2. 屋根形状は旧士官宿舎当時の物をイメージした葺き替えを行う。



〈配置計画〉

収蔵庫同様、周辺の既存樹は極力活かし、建物の南側には植栽スペースを設け、周囲の景観に配慮する。また、歴史的価値の高い石造り建築物をライトアップ等の演出により、石造り建築物の持つ重厚感や明治・大正期を彷彿させる雰囲気づくりを行う。

〈市民交流の拡大〉

現在、学習センターにおいて行われている市民活動（舞・社交ダンスの場など）を引き続き行える場として多目的ホールを利用し、市民の活動意欲の向上を図る。

〈歴史の伝承〉

次の世代へ北の防人大湊の魅力や歴史的価値を語りつなげていく場として、復元した和室を利用し、地域住民の憩いの場とする。



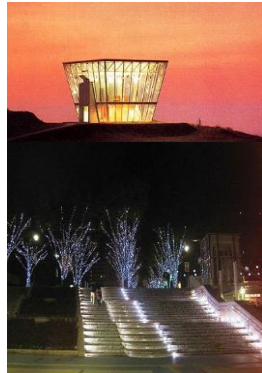
ポケットパーク施設: 展望台

建て替え: 屋外トイレ(2棟バリアフリー化)

〈基本コンセプト〉

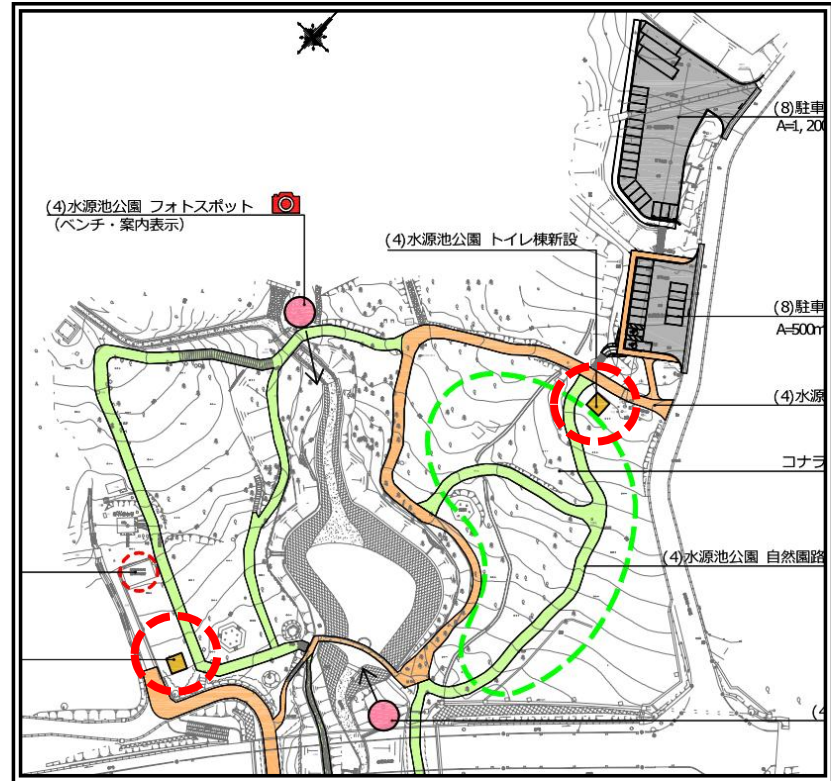
～北の防人大湊のビューブレース～

北の防人大湊と芦崎湾に停泊する海上自衛隊の護衛艦を、一望出来るビュースポット、また、北の防人大湊の魅力を引き立たせる役目を担い、訪れた方へ景観的魅力を提供する。



〈北の防人大湊を照らすライトボックス〉

昼は大正ロマンを感じるクラシックな時計塔をイメージさせ、夜間は展望台自体がイルミネーションオブジェクトへと変貌する。



〈平面計画〉

1. エレベーターを配置し、車椅子利用者、小さい子供、高齢者の方々に配慮した計画とし、誰もが北の防人大湊の景観を楽しめるようにする。
2. 監視カメラ、スピーカーの設置により緊急時の時速対応をおこなえる環境とする。
3. 展望スペースの他に、ベンチなどを設けた休憩スペースとしても活用できる計画とする。

〈立面計画〉

1. ガラスを多用し内部の人の動きを見せ、興味を引くことで集客効果を狙う。
2. ガラスを多用しつつも、洋館風な外観とすることで、大正ロマンに雰囲気損なわない演出をする。
3. 落雪の少ない屋根形状とし、冬期間の安全性にも配慮する。



水源池公園 園路整備(来園者にやさしい。)



管理用倉庫

(4)水源池公園 トイレ棟新設

(4)水源池公園 バリアフリー園路
(最急勾配 1/12以下に園路整備)

子供の広場

野外ステージ

回廊

石積壁

学習センター



(8)駐車場 水源池公園駐車場
A=500㎡

(4)水源池公園 バリアフリー園路

コナラ等の雑木林

(4)水源池公園 自然園路

(4)水源池公園 フォトスポット
(ベンチ・案内表示)



完成

舗装の表面

(4)水源池公園 自然園路

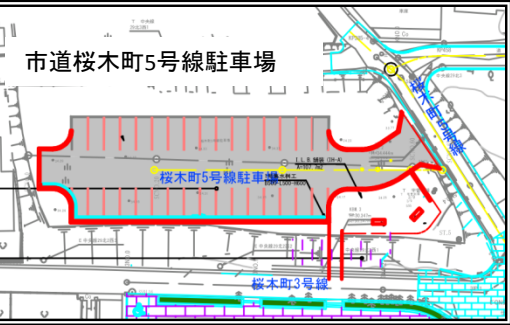
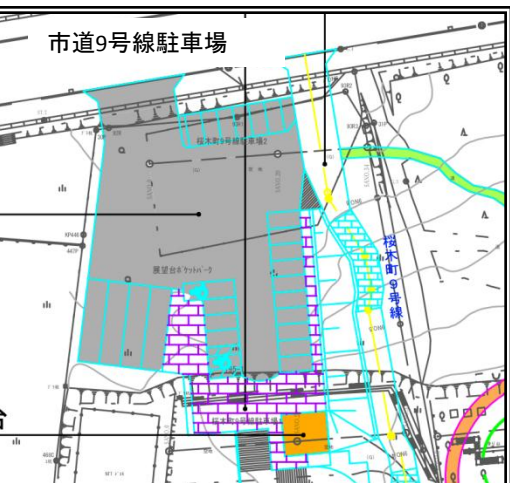
(4)水源池公園 階段護岸 フォトスポット

(4)水源池公園 フォトスポット (ベンチ・案内表示)

駐車場整備

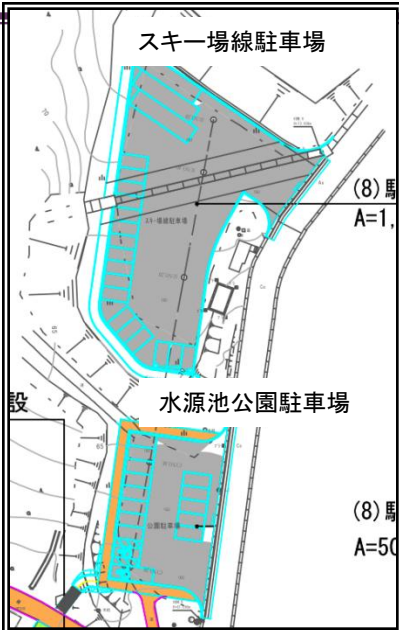
市道9号線駐車場

駐車台数
 大型用:4
 普通用:19
 身障者用:2



市道桜木町5号線駐車場

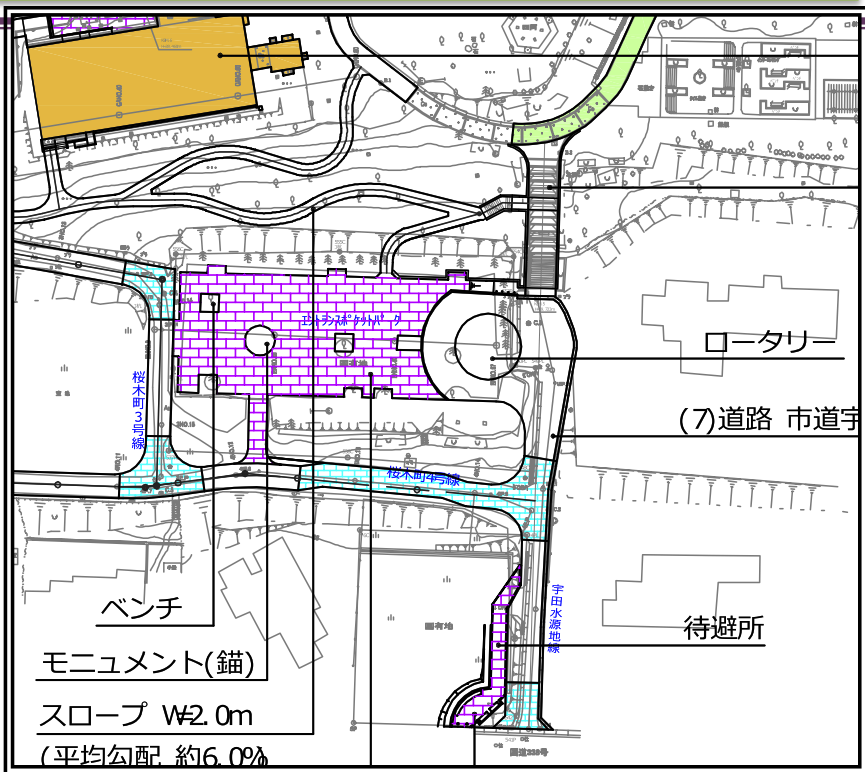
駐車台数
 大型用:2
 普通用:12
 身障者用:2



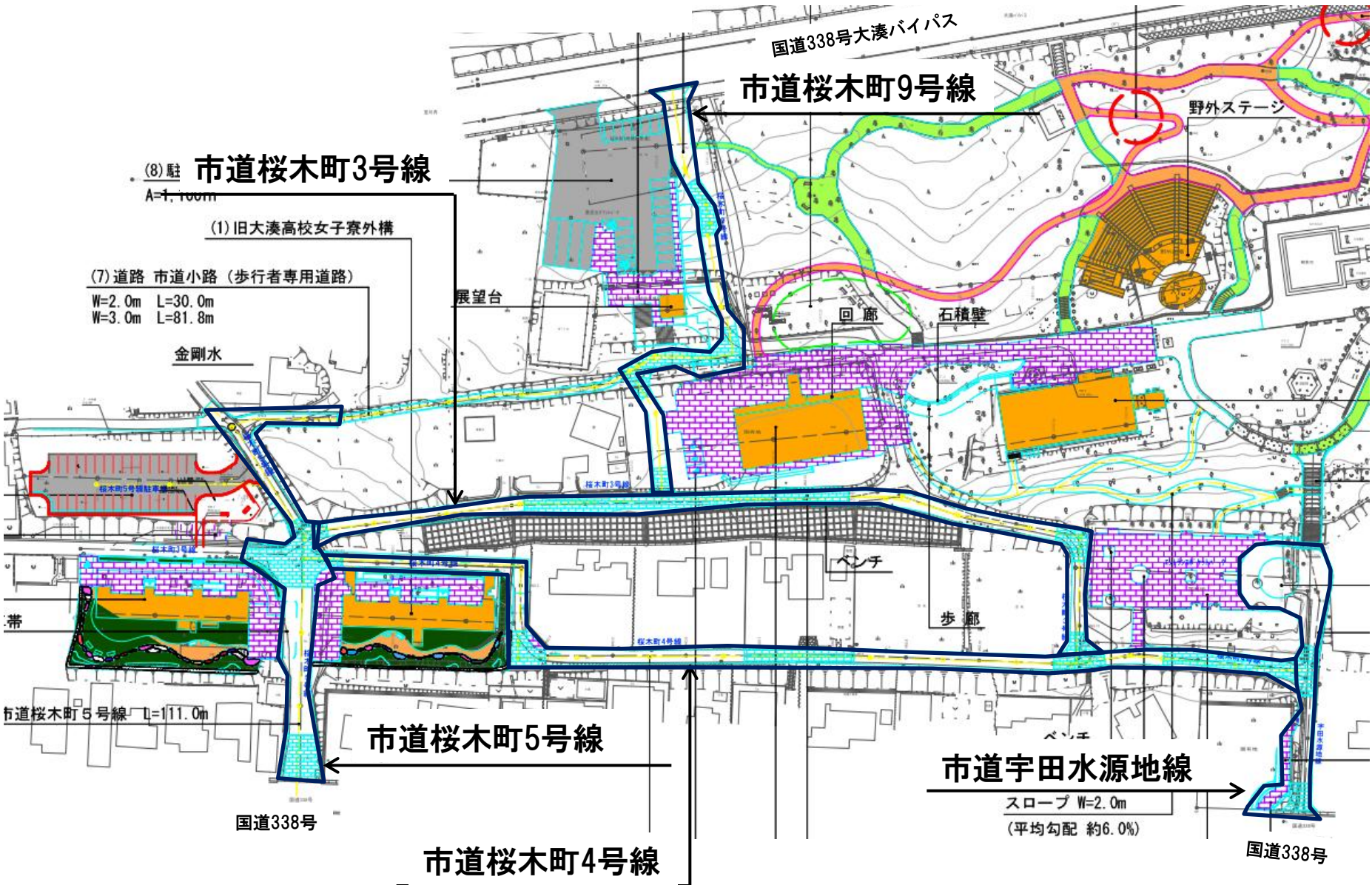
市道スキー場線駐車場
駐車台数
 大型:3
 普通:17

水源池公園駐車場
駐車台数
 普通用:13
 身障者用:2

エントランスポケットパーク



市道 改修 路線図



(8) 駐 市道桜木町3号線

A=1,100m

(1) 旧大湊高校女子寮外構

(7) 道路 市道小路 (歩行者専用道路)

W=2.0m L=30.0m
W=3.0m L=81.8m

金剛水

市道桜木町5号線

市道桜木町5号線 L=111.0m

市道宇田水源地線

スロープ W=2.0m
(平均勾配 約6.0%)

国道338号

市道桜木町4号線

国道338号

一度、建物の名前を検討するワークショップを開催しています。



第8回ワークショップ
北の防人大湊づくり構想書検討ワークショップ(平成23年
3月2日 水曜日 18:00～)



設計の進捗によって、建物の姿が明確化しているので、それに合わせた、建物の名前を再考してください。

構想書(素案)が平成23年7月に公表されていますが、今回、設計内容が固まってきたので、平成24年9月版案について、検討してください。



ワークショップからの案、パブリックコメント(予定)で、名称案を決めたい。

北の防人大湊を市と共に育てていく団体(営業、花植え、案内ボランティア)を作ってみませんか？

例 北の防人大湊隊
北の防人大湊人(おおみんなと)